

雪

雪が降ってきた

昼ごろから雪の強さは増していった

傘をさす

雪があたってサーツという

天気予報では明日未明まで降り続く

夜が大雪のピークだと

雪は激しく降るけれど

外はどんどん静かになる

校庭一面に大きな布団をかけたよう



県立特別支援学校埴保己一学園
中学部 1年

詩 濱田諒太郎 作

絵 河野 玲那 作

詩について

全盲の濱田さんが点字で作成したものを県立特別支援学校埴保己一学園の教員がデータ化したものです。

濱田さんは、よくニュースを聞きながら外に出て、天候を肌で感じています。濱田さんは、雪が傘に当たる感覚、天候が自分の生活に及ぼす影響などから胸がざわつきました。

雪が激しく降ることで、世の中の雑音が消えていきます。それは、頭から布団をかぶったときのような感じです。いつもは、校庭に子供たちの声が響いているけれど、校庭に大きな布団をかけたように音が消えていることを詩にしました。

絵について

弱視の河野さんは、絵を描くことが大好きです。雪が降った時、弟と遊んだ楽しい思い出をもとに、校庭でやってみたい遊びをたくさん描きました。